

再評価結果（平成16年度継続箇所）

担当課：道路局 有料道路課

担当課長名：金井 道夫

事業名	横浜横須賀道路 佐原～馬堀海岸		事業区分	一般国道	事業主体	日本道路公団	
起終点	自：神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目 至：神奈川県横須賀市佐原一丁目			延長	4.3km		
事業概要	横浜横須賀道路佐原～馬堀海岸は、既供用区間の機能の強化、16号バイパス機能の完成、末端の佐原ICに集中する交通の分散を目的とし、緊急時の代替・迂回などのネットワーク機能の強化、横須賀地域の混雑緩和、更には三浦半島から横浜市及び首都圏中心部への交通の利便向上を果たす路線である。						
H6年度事業化	S60年度都市計画決定		H7年度用地着手		H9年度工事着手		
全体事業費	890億円		事業進捗率	59%		供用済延長	-km
計画交通量	13,000台/日						
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (暫時業) 5.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 236/837億円 〔事業費：227/827億円〕 〔維持管理費：9/9億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,221/1,221億円 〔走行時間短縮便益：1,068/1,068億円〕 〔走行費用減少便益：74/74億円〕 〔交通事故減少便益：79/79億円〕	基準年		平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市（神奈川県庁）へのアクセス向上が見込まれる） 災害への備え（緊急輸送道路（国道16号等）が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する） <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	横浜横須賀道路佐原～馬堀海岸は、横須賀市をはじめとする関係4市1町の首長及び議会議長並びに関係市町の民間諸団体及び関係企業で構成される三浦半島地域高速道路建設促進期成同盟会より早期完成の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	三浦半島南部地域における交通状況は、各所で交通量が増加し、交通混雑が発生している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在、用地取得を推進、工事を順次着工している。今後も引き続き、工事を順次着工する予定である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	現在、全体面積の約9割は用地買収済みであり、全体延長の約5割は工事着手済みである。引き続き、地元の理解・協力を得ながら、残る用地取得・工事を行い事業を進めていく。						
施設の構造や工法の変更等	PC橋とRC橋の複合設計の確立やガードレール等発生材の利用等により積極的にコスト削減を図っていく。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。